

徳島県は過去に何度も南海トラフ地震の津波被害を受けており、石碑（地震津波碑）はその被害を伝える役割を果たしてきました。本プログラムは最新の3Dデジタル技術を用いて石碑の新たな一面を再発見し、地震や津波の恐ろしさを学び、未来へ伝える企画です。

本プログラムはJSPS科研費JP22HT0072の助成を受けたものです。



**参加費
無料**

弁当・お茶付き

石碑から 南海地震を学ぼう！

自然災害から
わが街を守るため

デジタル 石碑

ハカセ

に変身！

日時：**10月29日（土）**
9:30～15:30（受付9:00～）

予備日：12月10日（土）

※今後の新型コロナウイルスの感染状況により、プログラムを延期または中止する可能性があります。

— 講義・実習内容 —

- 講義① 地震津波碑って何だろう？
- 講義② 3Dデジタルの世界を知ろう
- 実習① 徳島県の地震津波碑の見学
～お昼休み～
- 実習② 石碑をデジタル拓本しよう
- 実習③ 石碑の3Dモデルを作ろう
- 実習④ みんなで地震津波碑を製作しよう



— 参加方法 —

下記 URL、もしくは QR コードから
必要事項を入力してお申し込みください。

<https://www.jamstec.go.jp/kochi/j/hiratoki2022/>

申込締切：**10月21日（金）**

場所：**徳島県立南部防災館
多目的ホール**

対象：**小学校5年生～高校生**
※保護者同伴可能

募集人数：**15名（先着順）**

主催：国立研究開発法人海洋研究開発機構 高知コア研究所
協賛：徳島大学 人と地域共創センター、奈良文化財研究所

<問い合わせ先>

海洋研究開発機構高知コア研究所 代表 088-864-6705

